

理科シラバス 中学2年

1. 学習の到達目標と評価の観点

(科目) 理科Ⅱ	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
	2 単位	第 2 学年	教科書：未来へひろがるサイエンス（啓林館） 問題集：サイエンスワーク 1・学習ノート 1（啓林館）
学習の到達目標	①自然の事物・現象に興味関心を持ち、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ②観察、実験などを通して、結果を比較・考察し科学的に探究する力を養う。 ③生物や生物による現象、自然環境などに主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。		
評価の観点	科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞		
	科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞		
	科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの
 B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
 C：「努力を要する」状況と判断されるもの
 D：未提出，未実施

2. 学習内容及び評価方法

月	単 元	学習のねらい	実験実習・学習のポイント
一学期 中間	1 章 生物の体をつくるもの 2 章 植物の体のつくりとはたらき	生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見だし理解する。 植物の葉や茎、根のつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解する。	生物の組織などの観察。 植物の葉や茎、根のつくりについての観察。 光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験。

一学期期末	3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ	動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解する。また、不要となった物質を排出するしくみがあることを理解する。 動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、そのしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連づけて理解する。	消化や呼吸、血液の循環についての観察。 動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察。
一学期中間	1章 地球をとり巻く大気の様子 2章 空気中の水の変化	地表にあるもののすべてに大気圧がはたらいていることを理解し、身のまわりの大気の実在を認識する。また、霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解する。	気象観測 湿度の測定 雲の発生実験 露点の測定の実験
二学期期末	3章 天気の変化と大気の動き	気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解する。また、日本付近の高気圧や低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を、地球規模の大気の動きの一部として捉える。	天気図の作成
学期末	4章 大気の動きと日本の四季	大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解する。さらに、日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解する。	天気予報の気圧配置の情報から、天気を推定する。 自然災害への備えについて考える。
評価の観点及び内容			評価方法（具体例）
科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞			実験・実習課題提出
科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞			実験・実習課題提出、定期考査
科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞			定期考査